**透明度の維持**

支笏湖は深い青をした美しいカルデラ湖として有名です。また、日本で最も綺麗で透明度の高い水をした湖としても知られており、町はホテルやレストラン、その他の施設による湖の汚染の防止に取り組んでいます。例えば、この汚れのない水にダメージを与えぬよう、地元温泉が使う公共下水道の方向が変えられました。この高い透明度の1つの理由は、プランクトン、藻、またはその他の生体を構成する物質の欠如です。支笏湖の周辺はまだほとんど開発が進んでいない為、水を濁らせる最大の原因の1つである人間による廃棄物があまりありません。また、湖でのモーターボートやジェットスキー、その他の電動ボートの操縦も禁止されています。

では、支笏湖の水はどれほど澄んでいるのでしょうか？2002年に行われた測定では、30メートル以上という信じられないほどの深さまで透明な場所が1つ見つかりました。平均的な「垂直の透明度」は15～20メートルと推定されているものの、それでもどの水域と比べても素晴らしい結果です。もちろん地元の人々は50年前にはもっと水が澄んでいたと言いますが、現在のテスト結果を見れば、日本にこれ以上澄んだ湖はないと支笏湖を訪れた人々も納得するはずです。